

平成19年度  
シルバー110番の  
相談状況

# 相談件数 4年ぶりに増加

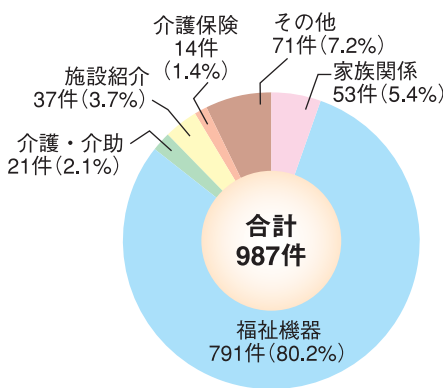
平成19年度の高齢者や家族などからの相談状況は次のとおりでした。

1年間の相談件数は1536件で、前年度よりわずか10件ですが増加しました。平成15年度以来、4年ぶりの増加でした。

## ▼相談件数

区 分	17年度		18年度		19年度		伸 び	
	件数 A	構成比 %	件数 B	構成比 %	件数 C	構成比 %	B/A %	C/B %
老人福祉全般	976	61.5	906	59.4	987	64.2	92.8	108.9
経済・生活	81	5.1	103	6.7	92	6.0	127.2	89.3
法 律	459	29.0	451	29.6	399	26.0	98.3	88.5
保健・医療	68	4.3	65	4.3	58	3.8	95.6	89.2
いきがいづくり	2	0.1	1	0.0	0	0.0	0.5	0.0
合 計	1,586	100.0	1,526	100.0	1,536	100.0	96.2	100.7

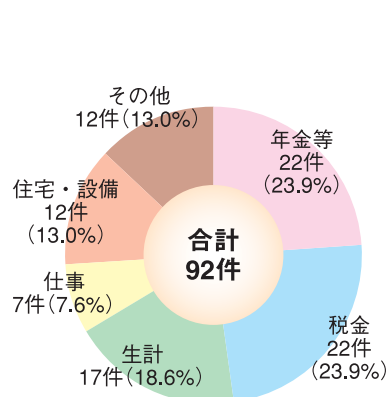
最も相談の多い「老人福祉全般」では、在宅介護の推進に欠かせない「福祉機器」に関する相談が



### ■老人福祉全般

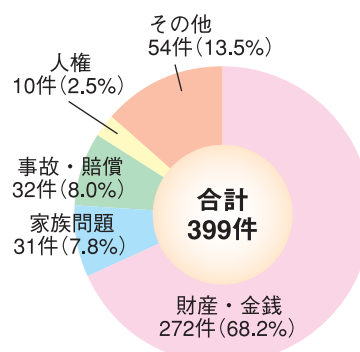
相談内容を項目別にみますと「老人福祉全般」が987件で最も多く、次いで法律が399件で、この2つで全体の9割を占めています。前年度と比較しますと、「老人福祉全般」のみが増加しています。また、相談を医師・弁護士や福祉機器相談員などによる「専門相談」とその他の「一般相談」に分類しますと、専門相談が927件で60.4%、「一般相談」が609件で39.6%となっています。

### 項目別相談状況



### ■経済生活

これまで同様、相続や借金などに関する「財産・金銭」に関する相談が272件で最も多く約7割を占めています。件数的には前年度より62件減少しています。



### ■法律

791件80.2%で最も多く、「家族関係」53件、「施設紹介」37件が続いています。「介護保険」に関する相談はわずか14件となっています。